

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公開番号】特開 2018-116770 (P2018-116770A)

【公開日】平成 30 年 7 月 26 日 (2018.7.26)

【年通号数】公開・登録公報 2018-028

【出願番号】特願 2017-4955 (P2017-4955)

【国際特許分類】

H 0 1 M 2/10 (2006.01)

B 6 0 K 1/04 (2019.01)

F 1 6 F 15/023 (2006.01)

F 1 6 F 5/00 (2006.01)

B 6 2 J 9/00 (2020.01)

B 6 0 L 50/40 (2019.01)

B 6 0 L 50/50 (2019.01)

B 6 0 L 53/00 (2019.01)

B 6 0 L 55/00 (2019.01)

B 6 0 L 58/00 (2019.01)

【F I】

H 0 1 M 2/10 K

B 6 0 K 1/04 A

H 0 1 M 2/10 S

F 1 6 F 15/023 Z

F 1 6 F 5/00

B 6 2 J 9/00 H

B 6 0 L 11/18 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 13 日 (2020.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ケーシング内に着脱可能に収納されるバッテリーパックを保護するためのバッテリーパック保護構造であって、

前記バッテリーパックに設けられ、前記バッテリーパックが前記ケーシング内に収納される
とき、バッテリー側コネクタとケーシング側コネクタとが係合する前に、下端が前記ケーシ
ングの内部底面に当接する緩衝体、又は、前記ケーシングに設けられ、前記バッテリーパッ
クが前記ケーシング内に収納されるとき、前記バッテリー側コネクタと前記ケーシング側コ
ネクタとが係合する前に、上端が前記バッテリーパックの底面に当接する緩衝体を備えるこ
とを特徴とするバッテリーパック保護構造。

【請求項 2】

請求項 1 記載の保護構造において、前記緩衝体は、前記バッテリーパックが前記ケーシ
ング内に収納されるとき、前記バッテリーパックから押圧力を受けてダイラタンシー挙動を示
すダイラタント体からなることを特徴とするバッテリーパック保護構造。

【請求項 3】

請求項2記載の保護構造において、前記ダイラタント体が成形体からなることを特徴とするバッテリーパック保護構造。

【請求項 4】

請求項3記載の保護構造において、前記ダイラタント体が中空体であることを特徴とするバッテリーパック保護構造。

【請求項 5】

請求項4記載の保護構造において、前記ダイラタント体に、内壁から外壁にわたって延在して中空内部と外部を連通する連通孔が形成されていることを特徴とするバッテリーパック保護構造。

【請求項 6】

請求項3記載の保護構造において、前記ダイラタント体が発泡体であることを特徴とするバッテリーパック保護構造。

【請求項 7】

請求項2記載の保護構造において、前記ダイラタント体が、ダイラタンシー流体と、前記ダイラタンシー流体を内包し且つ可撓性を示す収容体とを有することを特徴とするバッテリーパック保護構造。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の保護構造において、前記緩衝体が、前記バッテリーパックの前記ケーシングへの進入方向先端面に設けられていることを特徴とするバッテリーパック保護構造。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の保護構造において、前記緩衝体が、前記ケーシングの底部に設けられていることを特徴とするバッテリーパック保護構造。